

aadc
ASAHIKAWA ADVERTISEMENT DESIGN COUNCIL
BIG Vol.17

MAGMA

特集：コトバを紡ぐひとびと



「いま」の世の中。。。

ここ数年、人とモノとの付き合い方が、大きく変わろうとしています。それは、スローライフやロハスといった言葉が一般的に浸透し、身の回りにモノが溢れた豊かさではなく、お気に入りのモノと暮らす豊かなライフスタイルがいま求められているからです。社会的にも、ゴミの分別回収や粗大ゴミの有料回収、リサイクルが進み、常に環境問題を意識して生活することが当たり前になってきました。

それに伴って、多様化する個人のライフスタイルと地球環境の問題を考えると、全国的にユニバーサルデザインをはじめ、広告デザインもそれらの視点を踏まえながらつくることが求められるようになってきました。広告デザインというのは、ただのビジネスではなく、文化に関わる大切な仕事だと思います。そのためには「いま」という時代をよく知らなければなりません。アートの世界とは違い、世の中から出てきた課題に対して、どのように応えていくのかを考え、表現するのが広告デザイナーの役割で大切な使命だと、ここ数年強く感じるがあります。

しかし、そういう面からスローライフを地でいくはずの北海道旭川では、つくり手としての自分を含め、なかなかそのような課題と向き合った広告を見ることができません。大雪山の麓、豊かな自然に囲まれ、時間がゆっくりと流れるはずの旭川でなぜ…？ 灯台もと暗し？ 波に乗れない？ それとも、こころが忙しいから……？ などと考えることもしばしば。そのような中、これからはもっともっと、aadcにできるいろんな活動を通し、デザインのチカラで豊かなライフスタイルを提案できる取り組みを増やしていきたいと思っています。私たちaadcの会員が、人や街に果たすことのできる役割を考え、地域、企業、学校、各種団体などと連携しながら、さまざまな付加価値を併せ持った取り組みを積極的に推進していければ、もっと今の時代に必要なモノを見つけられる広告をつくることもできません。

これからは、少しずつでも会員ひとりひとりが楽しみながら参加でき、広告デザインに関する知識と経験の交流・活用を通してデザインの向上を推進することで、生活文化の向上と産業の発展に寄与することを目指しながら、少しでも先に進められるような広告づくりができる団体に育っていきたいと思います。

と。。。今年もまた勝手なこと言ってます。

旭川広告デザイン協議会
会長 やはずのよしゆき



バウハウスへのラブレター。

baudhaus

2005旭川広告デザイン協議会展

バウハウス2005 ポスター展

現代に生き続けるデザイン



一粒で二度おいしい企画

今年のaadc展は、昨年から「旭川デザインマンス」のイベントの一つである「バウハウス・ポスター展」として実施しました。内容は「バウハウス2005 現代に生き続けるデザイン」を宣伝するポスター自体をコンペ形式で募集し、さらには応募された全作品を展示するという、一粒で二度おいしい企画です。短い公募期間にもかかわらず集まった作品は、学生部門に37点、プロ一般部門に48点、計85点ものたくさんの応募がありました。

5月に開催された審査会は、ミサワバウハウスコレクション学芸員の柚田さんや北海道東海大学の小林先生など複数の審査員で構成し、投票とディスカッションによる審査を実施。各部門からそれぞれ優秀賞1点、佳作2点の入賞作品を決定しました。(aadcからは、竹中領チームと矢筈野会長が見事入賞!)

また、選ばれた各部門の優秀賞は、実際に印刷物となりイベント広報ツールとして使用されました。

7月に開催された展示会は、デザインギャラリーを会場として応募された全作品を展示。本家の「バウハウス展」で象徴的に使用された「赤い四角」をモチーフとして効果的に使用し、平面のポスターが立体的に展示されました。短い開催期間でしたが、多くの来場者が訪れて85通りのいろいろな「バウハウス」をお伝えできたのではないかと思います。

aadc展 事業部 杉本 啓維



バウハウス2005ポスター展

現代に生き続けるデザイン

bauhaus

バウハウスへの愛は、こうして始まった。



【コンペ作品募集】
2005年5月16日(月) 締切

【公開審査】
2005年5月21日(土)
北海道東海大学



【バウハウス2005 現代に生き続けるデザイン】
2005年6月14日(火)～7月31日(日)
コレクション館

【ポスター展】
2005年7月5日(火)～10日(日)
デザインギャラリー



【表彰式】
2005年7月10日(日)
デザインギャラリー

【バウハウスサマーパーティ】
2005年7月10日(日)
デザインギャラリー

入賞作品

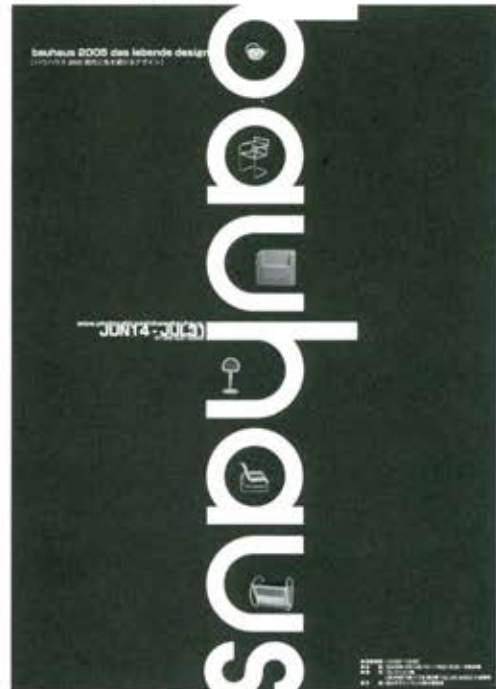
プロ・一般部門 優秀賞



(前)デザインビークス
領家 匠
(前)デザインビークス
中村 真人
北海道地区(株)
竹田 貴治

「パウハウスって何だ?」というコンセプトのもと、「四角=赤」「三角=黄」「丸=青」というパウハウスの基本となるデザイン理論をストレートに表現。疑問形のコピーにより、見る者の共感を誘います。

学生部門 優秀賞



旭川高等技術専門学院
工藤 勇魚

極力色数を少なくし余白を大きく残す事で、近代デザインの源流とも言われるパウハウスにおいて生み出された作品が長い年月を経た今も尚、放つ普遍的な魅力を表現しました。

プロ・一般部門 佳作



公務員
くらしげゆか

モノづくりの姿勢を子供の工作になぞらえ、教育機関、研究機関であったことを、親子の会話に含ませてみました。パウハウスの研究が、現在の私たちの普通の暮らしの中に生きていることを、広く、一般の方々に啓蒙する企画展であることを重視し、気軽に立ち寄って見ようという気持ちを喚起させるようなデザインにしてみました。

プロ・一般部門 佳作



(前)デザインビークス
矢筈野 義之

常にデザインのどこかに受け継がれているパウハウスのDNA。その進化と変化の過程を「血」をイメージする赤のみのタイポグラフィで表現。

学生部門 佳作



北海道東海大学
森川 瞬

今ではモダンデザインの源流といわれ、当時から輝きを放っていたパウハウス。その輝きをヴィルヘルム・ヴァーゲンフェルトのテーブルスタンド(照明)をアイコンとして画面に構成し、表現した。

学生部門 佳作



旭川高等技術専門学院
山崎 誓子

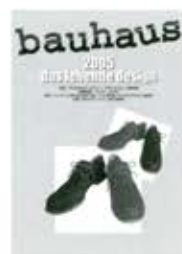
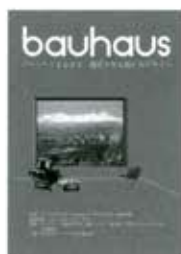
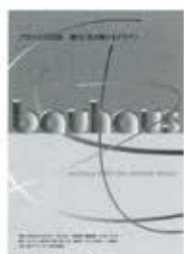
パウハウスを多くの人に知ってもらいたいと思い、自分と同じような、パウハウスについてよく知らない人達の立場になって、自分が考えるパウハウスのイメージを色と四角い形で表わした。



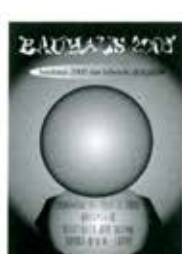
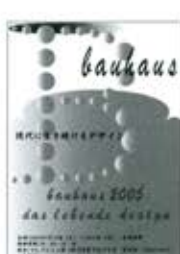
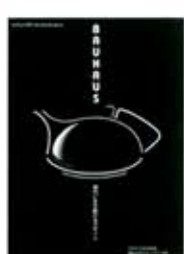
旭川広告デザイン協議会 会長賞(いいもの持ってるで賞)

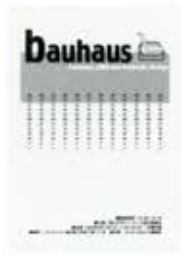
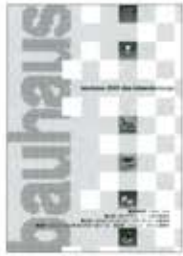
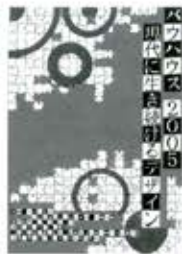
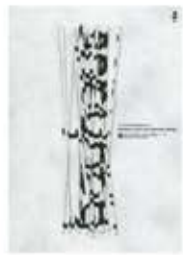
旭川工業高校
金武 奈々

自由な発想で色や形を組み立てながらも、モダンで斬新なデザインでとても存在感のあるパウハウスをイメージしました。パウハウス以降これまで活躍した多くの工業デザイナーがパウハウスのデザインの源流から脱却して(壊して)新たなコンセプトを築きつつも、その造形教育に立ち返り再び屈してしまう(再び戻す)現実のくり返しの歴史であることを切り貼りとして表現しました。



バウハウス2005 現代に生き続けるデザイン





フロア一般部門 ◀▶ 学生部門

ポスター展

紙上展示会



コトバを 紡ぐひとびと

職業的コピーライターのスズメ

旭川には、もっとコピーライターが必要だ!

グラフィック・デザイナーのパートナーとして、言葉というキーポジションを担いながら、広告戦略を肅々と進めるクリエイター「コピーライター」。彼らは一体なにを考え、どんな未来図を描いているのか……。コピーライターの本音に迫ってみました。

参加者/
勝浦 恭子(フリー)
中村 真人(デザインビークス)
矢崎 真弓(フリー)
土屋 仁美(グラフィクス・エーオージー)
まとめ役/
井上 隆也(ノヴェロ)

井上 若い人の中には、文章を書く仕事をしたいと思っている方もいると思います。今回は、広告の中で「文章を書くこと」に携わるコピーライターに焦点を当て、その仕事について紹介していきたいと思います。まずは、皆さんがコピーライターになった経緯をお聞かせ下さい。

●中村～体育会系コピーライター

中村 僕の場合は、大学のかかなり早い時期からコピーライターになりたいと思っていました。

井上 中村さんは札幌出身ですよね。ちなみにコピーを志したきっかけは。

中村 大学1年の時に作った、部活の部誌ですね。

井上 何部ですか？

中村 剣道部という。

井上 それはどんな部。

中村 玄制流空手から派生した武道なんです。そこで部誌を作っていて、メンバー紹介の文章が思いのほかうまくいきました。これは俺、向いているなと。卒業後は、札幌の広告会社に入ることができたんだけど、コピーライターじゃなくプランナーの部署だったんですよね。そこでマーケティングやプランニングの基礎を勉強しながら、ちょっとずつコピーや長い文章も書かせるようになって。もっと本格的にコピーの仕事をしたくなったので、いいタイミ



思いを伝えるって、どうしてもマルを四角で表現するようなどころがある。

〈中村 真人〉

ングで話のあったビークスへやって来て、現在に至るとい感じず。

●勝浦～ペンを持ったうぐいす嬢

井上 続いて勝浦さん、お願いします。

勝浦 私は元々アナウンサー志望だったんですよ。

井上 勝浦さんは滑舌がいいですよね。

勝浦 中学の時放送部で、「キミの声には色がある」なんて、部長の先生が誉めてくれて、私もその気になって、キー局をいろいろ受けてみたの。でも、全滅。東京の短大卒業後に、とある大手広告代理店の試験を受けて、秘書という名目で入ったの。上

司が久保専(現宣伝会議)のコピーライター養成講座の講師で、コピーライターになりたいなら授業料を免除してやるって言われ、面白そうだと思って銀座の教室に通い始めた。ちょうどコピーライターが注目され始めた時で、教室はいつも満員でした。同じ志の仲間もできて切磋琢磨したんだけど、結局会社ではコピーを書く機会がなかった。数年経って、旭川へもどることになって。帰ってから大学の図書館に司書として勤めたんです。でもやっぱりコピーがやりたかったの、札幌に出て、たき工房を受け、そこから電通に意向になったんです。結構しごかれましたね。今もこうして仕事を続けていられるのは、そのころしごかれたおかげかも(笑)。

●矢崎～関西風さっぱり系

井上 じゃあ、矢崎さん、どうぞ。

矢崎 私は高校まで三重県育ちです。京都の短大に行っている時に、親が東京へ転勤になったのをきっかけに卒業後上京。今というフリーターのはしりですね、ティズニールや試食販売のバイトをして過ごしていました。そんな時、求人誌で編集プロダクションのバイト募集を見つけて、以前からなんとなく興味があったので飛び込んだんです。そこでは使い走りとか、ワープロ打ちだけでしたけど、いい仲間が結構楽しかったですね。その後、イベント会社や



映像会社で働きました。仕事は楽しかったんですが、ある晴れた日、事務所から外を見て、こんな天気がいい日に会社の中になきゃいけないっていうのはいやだなんて思って、その時フリーになろうと思ったんです。絵が上手だったらイラストレーターを目指したと思いますがヘタだったので。ライターならできるかもしれない。じゃあどう売り込もうかと考えて。当時、私は環境問題にすごく興味があったので環境雑誌を扱っている雑誌社を当たったら、その内の一つから遅らく仕事をもらうことになったんですね。

井上 それまで、ライターの経験はなかったんですか。

矢崎 なかったんです。でも以前バイトでいた編集プロダクションでも文章は誉められたりしたんですよ。

勝浦 編集者の人に、見る目があったのね。

矢崎 その後は、来るものは拒まずで、どんな仕事でもしましたね。

勝浦 フリーで仕事を始める時の鉄則だよな。来るものを拒まずって。

矢崎 東京では面白い仕事も沢山あって、いろんな経験を積んできましたけど、縁あって5年前に旭川へ来ました。1年くらいはライターの仕事が見つからなかったけれど、営業を続けるうち広告代理店と出会うことができたんですね。それで今、色々な仕事をさせて頂いています。



言葉とか文章にはすごく興味がある。学校は絵本制作専攻でした。

〈土屋 仁美〉

●土屋～ルーキーコピーライター

井上 土屋さんもプロフィールをどうぞ。

土屋 私はコピーライターとしては、まったくコノ字にも届いていないような状況なんです。会社ではグラフィックデザインをやっていますし。実は、今まで別のライターさんに頼んでいた専門学校のパンフレットの文章を、社長に言われて急遽そのコピーを私が書くことになったんです。それがコピーの初仕事だったんですが、たまたまお客さんにもウチの社長にも気に入っていただいて、今後もコピーを書くことになりそうなので。今日は、皆さんに勉強させて頂きたくて伺いました。

井上 エーオージーの社長が、土屋さんはいいコピーの感性を持っているって言ってましたよ。

勝浦 ライターとしては、何か得意なジャンルを持つことも一つの方法だよな。

●井上～代理店系ディレクター

井上 僕が広告会社に入ったのは、ノヴェロの前の、協同案内企画だったんですけど。

勝浦 その時はコピーライターとして入ったんですか。

井上 プランナーです。なぜコピーライターに変わったかという、今、AADCの会員でもある小高さんが当時、当社にいてコピーライターだったんですが、僕が入社半年後に彼が辞めた時にライターが不足したので、コピーを書くようになったんですね。

勝浦 今も、ディレクションだけじゃなくて、コピーも書いているんですか。

井上 会社には、コピーライターの女の子がいて、今、育てている最中なんですけど。その子がメインで書いてます。僕はプランを作る中で、これはと思うコピーだけを書いている状況ですね。

中村 ずるいなあ〜。(笑)自分のやりたくないコピーをどんどん回せる環境なんて、ちょっとずるい。

井上 すみません。(笑)



◀この仕事、やっていて良かった

井上 皆さん、コピーライターをやって良かったと思うことは何ですか。

矢崎 ライターをやっていて面白いと感じるのは、やはり取材ですね。たとえば、ゴミを焼却した灰からレンガを作っている工場を取材したり、花粉症の権威の先生と話をしたり、博覧会を取材したりと、普段の自分なら決して出会うことない人や世界に、取材を通じて出会う時、ライターをやっていて良かったと思ったりします。

勝浦 取材で、企業などのトップの人とお話ができることも役得ですね。皆さん、話題も豊富で人間的に素敵な魅力を持っています。人間に興味があるから、人物取材は楽しい。

矢崎 インタビュー記事って、読んでいても面白いですけど、我々は現場で、その面白さに立ち会える。その時間は緊張もありますが、感動することが多いですね。

井上 広告業界という役割、あらゆる業種の方と関われ、しかも企業の深い部分、商品の核心の部分とつながることが多い。色んなことに興味を持ちたい欲張りな人にはぴったりの仕事といえるかもしれませんね。

勝浦 旅行雑誌の取材でハワイへ行く企画があったのに、どうしても時間が取れずに…。

矢崎 今度、そんな仕事の話があったら、私にも紹介して。(笑)

◀コピーライターとライターって、一緒？

土屋 とこでライターとコピーライターっていうのは何か違いがあるんでしょうか。

矢崎 どうでしょう。

中村 だいたいフリーというと、ほとんど



コピーライターの未来が明るくなれば…。

〈井上 隆也〉

がライターで、コピーライターは非常に少ない。コピーライターの方が売り込んだり、説得する技術に長けているのかもしれない。とはいえ、基本的には一緒なんだと思います。

勝浦 媒体の違いかなと思うのね。広告ならコピーライター。編集的なものはライター。佐藤可士和さんでデザイナーいって。あの人が、広告なんて誰も読まないし、読みたくない。それをいかに読ませるか、目につけさせるかに広告クリエイターの力量が試されると。それはライターの仕事も同じ。対象にすごく興味のある読者だけじゃなくても、何気なく手にとった読者をいかに注目させるかっていうテーマがある。

矢崎 雑誌だと見出ししか読まない人も多い。だから、見出しで大体わかるようにしておくというのはセオリーですね。

勝浦 ぱっと見た時に引き込む力が必要なのは、ライターもコピーライターも同じですね。

中村 そうなると、やっぱりデザインの力が不可欠ですね。

土屋 コピーを書く時に大事なことってなんでしょう。

中村 サービス精神は大事ですね。(笑) 短い文の中でも、ちょっと笑いを入れられたらベストですね。僕はみんなを楽しませる文章ということに気をつけています。

土屋 取材なんか大変ですね。

中村 僕は新人の頃に、下調べをせずに取材に行くと、先輩にひどく怒られたことがあります。「取材に望む態度が良くない」って。相手から言葉を引き出すには、前もって知識を仕入れたり、準備が必要だということを知りました。

井上 調べるということは、皆よくやりますね。

勝浦 そういった意味で、コピーライターはみな本好きですね。

◀デザイナーVSコピーライター

井上 デザイナーとコピーライターの関係についてはどうでしょう。

勝浦 お互いに必要不可欠な存在だけれど、お互いに生かし合いもすれば殺し合うこともある…。

井上 デザイナーの駄目出してコピーライターが育つこともあります。

勝浦 どんな駄目出しが多いのかな？

井上 うちの場合は、パッとみて、わかりやすいカタチで目に飛び込んでくるような文字を使ってほしいという駄目出しがきます。短い漢字がほしいとか、カタカナがほしいとか。

中村 でもそれは、あくまでもデザイナー主導の仕事じゃないですか。本来ならコピーライターとして、コンセプトに基づいたビジュアルやコピーの方向を示していくべきですね。ただ、それは時間のある仕事なら可能ですが、時間のない仕事だと、ビジュアル先行になってしまう。

勝浦 できているデザインにはめこむ作

業になったり。

中村 それは、あまり書いていて楽しくない作業になりますよね。

勝浦 本来ならコピーライターとデザイナーは、丁々発止と意見を交換すべきなんだよね。お互いに言いづらい部分を、本音を出し合わなかったら、いいのはできないよね。

中村 でも、なかなかバトルにならないところが悲しい。時間に追われる中でしょうがないっていう、あきらめが先に立つ…。

井上 デザイナーは文字もデザインの一



ライター仲間がいるっていうのは、すごく心強い。

（勝浦 恭子）

部としてみますし、コピーは意味や内容を大事にしたい。両者の思感がピタリとはまる感じが広告づくりの醍醐味なんだと思います。

●才能か努力か

井上 ではちょっと過激に。コピーライターに必要なのは、才能か努力か。

中村 ライターに関しては、僕は一体だと思っています。だって努力を努力と思わないから。

矢崎 私は才能だと思う。

勝浦 才能というより、ライターとしての資質。やっぱり言葉で伝えることが好きなんだと思う。

中村 どの道でもきっとそうなんでしょうね。好きこそ物の上手なれっていう。

矢崎 伝えたいことが、ちょうどほしい言葉として浮かんだ時とか…「天才!」と思っちゃう。ほかの人が見たら普通の文章なんですけど。

勝浦 すごい矢崎さん。そこまで思っちゃうの。

中村 ライターは自分を誉めますよ。

矢崎 神の啓示か、って、大げさだけだと思うこともありますね。(笑)

勝浦 書いていて毎回のよう思うけど、ぎりぎり追いつめられて、よくできたなど。

矢崎 私もそんなことばかりです。でもそんな中でも、文句を言いながらも、きっと矢崎は締切守ってやるんだらうなって、突き放して見ている自分がある。

中村 俺は天才だって、毎日思ってるんで。(笑)

矢崎 明日の今日はきっと終わってる。だから頑張ろうって。

勝浦 うわーっ、それってすごくわかる!でも矢崎さん、青い空が見たくて、フリーになったんでしょ。私は先輩に言われたわ。フリーってすべてを相手のオファーに合わせるから、こんな不自由な仕事ないよって。

●出て来い!コピーライター。

井上 旭川はライターの需要としてはどうなのでしょう。

矢崎 こちらへ来ると決めた時、旭川なんか全然仕事ないよって言った友達がいんだけど、お陰様で忙しくさせてもらっているから「どうだ!」という感じですね。

勝浦 私も、特に営業活動をしているわけではないんだけど、どうにか今日まで…。でも、旭川のライターの存在はほんとうに知られていない。

中村 コピーライターの仕事を知ってる人ほど、どちらから来たのと聞かれて旭川というと、驚かれます。

勝浦 でも私は、札幌と旭川でそんなに差があるとは思わないけど…。

中村 旭川のライターのレベルは高いですよ。でもデザイナーは結構新しい人が入ってくるけど、コピーライターの希望者はあまり聞かない。

井上 実際は、どの広告会社にもコピーライターはいますし、印刷会社に勤めているコピーライターもいます。文章が好きの人とか、書くことを職業としたい学生の方は、まずは広告会社をねらってほしいですね。

中村 ぜひ若い人にきてもらいたいです。

●コピーライターの魅力とは

井上 では、若い人が一人でも多くコピーライターを目指してもらおう、コピーライターを宣伝するとしたら…。

中村 コピーの魅力は、誰もが知ってる日

本語を操っているところ。デザインより、敷居がひろくて、苦しさもあるんですけど、その辺がやっぱり面白いんですね。

勝浦 きっと面白くなかったらやめてるよね。

矢崎 そうですね。書き上げたあとの達成感は大きいですよね。

中村 つらいことは多いんだけど。限られた時間の中でよく俺ここまで書けたなって。そういう爽快感ってのは、きっとものを書いてる人は絶対あると思うんだけど。

勝浦 コピーライターもライターも同じだ



書くときはしんどいけど、あと忘れちゃうんですね。

（矢崎 真弓）

けれど、私たちの仕事って、需要があってはじめて成立するものでしょ。そこが作家などとは違うよね。でも、けっこう仕事は長く続けられそう。

中村 職業としてのコピーライターの寿命は、たぶんデザイナーよりは長いんじゃないかな。

勝浦 そのためにも、瑞々しい感性をいつまでも持っていたいですね。

井上 実際、広告会社やプロダクションではデザイナーからコピーライターに転身する人もいます。コピーライターは、キャッチフレーズや長い文章を考えるだけでなく、企業の広報戦略の全体を把握したり、核となるコンセプトを作ったりと、プランナーやクリエイティブディレクターを兼任する広告づくりの司令塔なんです。実は、政治家の政策なんかも、コピーライターが考えていることが多々あります。若い人には、コピーライターの知的な創造作業の醍醐味をぜひ味わってほしいですね。

中村 そうした意味で、我々もディレクター的なポジションをどんどん確立して、もっとレベルを高めていきたいですね。

広報出版事業部

山崎 和美



最初の部会では、今年度の出版予定としてミニマグマを4回発行する予定で考えていましたが、実際のところ何とか2回と名簿・ビッグマグマの発行のみとなってしまいました。これも私の統率力のなさや反省しています。しかし、数こそすくないですが事業部皆さんの協力により出版出来たミニマグマ。少しは新しい切り口で発行することが出来たかと思えます。(こんな右も左も分からない私を支えて頂いた事業部の皆さんありがとうございました。)最後に原稿依頼をして快く引き受けて下さった皆様ありがとうございます。特にビッグマグマの座談会に集まって頂きました皆様お忙しい中、本当にありがとうございました。

交流懇親会事業部

竹田 貴治



今回、初めて交流懇親会事業部をやることになりました。いわゆるイベントごとが大変でどんなに苦勞の多いことか、私自身改めて体験することができました。

今年の交流懇親会事業部の最大の山場はズバリ、「パウハウスサマーパーティー」で間違いないでしょう。ギャラリーの中庭を使って「縁日」「クイズ」「花火」「手作り料理」と、期待を裏切らない? ...盛りだくさんな企画で実行しました。事業部員のみならず、お手伝いにかけて出て下さったみなさんのご厚意にとっても感謝いたします。お陰様で、大勢の参加者を楽しんでもらうことができたと思います。天気に恵まれていたら、もっとよかったのに...。っと、いや、違う!!今回、同時期に別の会で花見の幹事になり、その時に暴風雨に見舞われ、悪天候に、何かと敏感になっていた私は、ひそかに余分なテントを確保しておいたのでありました。ふふふ、予想通り、やはり天気は最悪の状態になり、テント大活躍の宴(うたげ)は、盛り上がっていったのでした。誰だい?雨男は??でもいいのです。普段の仕事では味わえない交流懇親会の場を通して、人は支え合って生きているんだ、仲間は多いほど、すばらしい!!と、ふとあたりまえのことに感じました。来年度も交流懇親会事業部が、自発的に実行でき、協力しあい、潤滑油の役目となり、そして、みなさん個人の自己ピーアールの場になっていければいいなあと思います。

平成17年度 幹事会報告 <場所/デザインたち>

- | | |
|--|--|
| 4月8日(金) ■13名出席
- 平成17年度幹事引き継ぎ
- 総会準備 | 8月3日(水) ■5名出席
- 各事業部事業報告 |
| 5月12日(木) ■9名出席
- 事業部 会員編成
- 各事業部事業計画について | 9月7日(水) ■10名出席
- 神々の遊ぶ庭の音楽会について
- 各事業部事業報告 |
| 6月1日(水) ■10名出席
- パウハウスポスター展について
- 各事業部事業報告 | 10月5日(水) ■8名出席
- 各事業部事業報告 |
| 7月6日(水) ■8名出席
- 各事業部事業報告 | 18/1月18日(水) ■11名出席
- 各事業部事業報告
- 神々の遊ぶ庭の音楽会について |

マグマ発行

- | |
|--|
| 4月22日(金) ■aadc 会報「ビッグマグマvol.16号」発行 |
| 9月14日(水) ■ミニマグマ 第66号
特集「データづくり」について話そう |
| 18/3月24日(金) ■ミニマグマ 第87号
特集「サインとディスプレイ」について話そう |

ホームページ事業部

久留嶋 美子



旭川広告デザイン協議会のホームページ制作を担当しております「ホームページ事業部」です。今年こそ、今年こそホームページをアップするぞとやっておりましたが、例年通りの結果となり皆様には色々ご迷惑をおかけしていることと思います。この状況を2006年度は継続しないよう心掛け、スムーズな業務体系づくりをしていきたいと思っております。また現在、ホームページのおおまかな骨組みは制作しておりますので近々仮アップという形で皆様の目に届くようにしたいと思っております。その際はご意見・ご感想等をお寄せください。これからのホームページ制作の参考とさせていただきます。2006年度こそは…。

aadc展事業部

杉本 啓維



いつも大変なaadc展とは違い、今年のaadc展は最初から企画自体も決定済みで部会を開催するまでもなく、やる事は決まっておりました。(実際には年度替わりで担当も決まっていなく、とりあえず幹事会が作業を担当してくれたいのですが…)

事業内容は旭川デザインマンスのバウハウス展の「ポスター展」を開催。詳細は別項をご参照いただくとして、会長はじめ関係者の多大なご協力がありましたのでイベント自体は無事終了いたしました。幹事としてイマイチ自覚がない割には、ポスターコンペの審査員も担当させていただき貴重な経験になりました。ありがとうございます。

ちなみに、ポスター展の優秀賞を取られた工藤勇魚さんがデザインピースに就職されたそうなので、リアルな産学官連携の成果なのでは…とったりします。

受託事業部

松田 美環



前年度から新事業として立ち上がった受託事業部を引継ぎ二期目となりました。今年度の事業は「第5回 神々の遊ぶ庭の音楽会」の実行委員としての活動が主でした。毎年aadcが協力しているポスターとチラシは「次は俺にやらせろ!」と、前年度から立候補していた領会会員のデザインに決定。後藤昌美さんの水蒸気をもくもくと吐くリアル旭岳の写真は、昨年の穏やかなポスターとは違った力強く生きた大雪が魅力的に表現されていました。早い時期から会議に参加していた矢筈野会長、今津副会長お疲れ様でした。そして協賛集めやチケット販売をしてくださり、当日の手伝いをしてくださった会員の皆様、ありがとうございました。

平成17年度 各事業報告

- 4月22日(金) ■平成17年度 定期総会
ホテルクレスト旭川 19:00~
■交流懇親会
ホテルクレスト旭川 20:00~
■aadc 会報「ビッグマグマvol.16号」発行
- 5月21日(土) ■バウハウスポスターコンペ審査会
場所/東海大学
・学生の部=37点
・一般の部=48点
- 7月5日(火)~7月10日(日)
■バウハウス2005ポスター展 (aadc展)
場所/デザインギャラリー 来場者:429名

- 7月10日(日) ■aadc展 (バウハウス2005ポスター展)
・ポスターコンペ表彰式
・バウハウスサマーパーティー
- 11月12日(土) ■交流懇親会 ポウリング大会
場所/旭川コンパル 参加者28名
- 18/2月25日(土) ■交流懇親会 (新年会)
【たまには宴会だけでもいいんじゃないの会?】
場所/「味彩 善(Zen)」 出席者12名
二次会「HIJACK (ハイジャック)」

後援・共催・協力事業

- 6月14日(火)~7月31日(日)
■旭川デザインマンス (主催・実行委員会)
主催/旭川デザインマンス実行委員会
- 18/3月11日(土) ■神々の遊ぶ庭の音楽会 (主催・実行委員会)
主催/「神々の遊ぶ庭の音楽会」実行委員会

ADA関連事業

- 6/14~7/31 ■旭川デザインマンス
6/18-19 ■三都市デザイン交流会in旭川
12/13~1/22 ■旭川デザイン協議会展 2005

B
 I
 G
 M
 A
 G
 M
 A

協 賛 広 告

dentsu

株式会社 電通北海道 旭川支社

070-0032 旭川市2条通9丁目旭川道銀ビル6階
Tel 0166-23-4771 Fax 0166-22-1036

感動の明日を共に創造する

株式会社 絵北海 <http://www.sohokkai.co.jp>
info@sohokkai.co.jp

本社・工場/〒070-8272 北海道旭川市工業団地2条1丁目1番23号 TEL 0166-36-5556
札幌支社/〒001-0030 札幌市北区北30条西5丁目 菊地ビル4F TEL 011-757-6996
東京支店/〒130-0022 東京都墨田区江東橋4丁目25番10号 加藤ビル2F TEL 03-5625-7321



ワンドリームピクチャーズ(有)
(旧社名 カラー工芸社)
旭川市大町1条4丁目 tel.(0166)50-2556 fax.(0166)50-2566
www.1dream.jp

アート&デザイン

- グラフィックデザイン専攻
- イラストレーション専攻
- 写真芸術専攻
- CGデザイン専攻
- アニメ・ゲームクリエイター専攻
- インテリアデザイン専攻
- インテリアコーディネーション専攻
- クラフトデザイン専攻
- フラワーデザイン専攻
- 絵画芸術専攻

学校法人 美専学園
北海道芸術デザイン専門学校
〒001-0027 札幌市北区北27条西8丁目 TEL 011-756-0777
美専学園入学センター ☎ 0120-5888-96
<http://www.bisen-g.ac.jp> Mobile <http://www.bisen-g.ac.jp/mf-mail-center@bisen-g.ac.jp>

DO.

クリエイティブ集団
Design office ONO

●主な仕事●
地域活性化計画、立案及び実施/イベントに関する企画、立案、及び実施
広告に関する企画、立案及び実施/新商品に関する企画、立案制作販売
マーケティングリサーチ 講演会企画・プロデュース

株式会社 デザインオフィス・オノ
〒078-8812 旭川市緑が丘南2条2丁目1-5
FAX 0166-60-7222 FAX 0166-60-7223
携帯/090-3776-8513
E-mail:do_ono@d1.dion.ne.jp

地域企業の創造的な活動を支援します

事業内容

施設・設備賃貸事業
インキュベーションルームの貸室や交流サロンまた設備機器の賃貸

相談・コーディネート事業
企業からの様々な相談に対し、情報提供、アドバイスや研究機関等と連携した支援活動を実施

人材育成・交流促進事業
各種セミナーや異業種交流事業など、地域企業のニーズに即した事業の実施

調査・研究開発支援事業
新製品・新技術の開発や新規事業化などを学術機関・試験研究機関等との連携により支援

株式会社旭川産業高度化センター
旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号
☎0166-68-2820 FAX 0166-68-2828
ホームページURL <http://www.arc-net.co.jp/arc/>



芽吹くイノチ
花咲くチカラ
貴方とトモニ

株式会社 みらいプリンティング
MIRAI PRINTING Co.,Ltd.

●本社・工場/〒071-1298 北海道上川郡東神町2942番361旭川鷹栖インター流通団地 TEL:0166-59-3333/9
●札幌支店/〒060-0007 北海道札幌市中央区北7条西13丁目9-1 塚本ビル7号館2F TEL:011-281-6666
●東京営業所/〒101-0061 東京都千代田区三崎町2丁目9番7号いしづかビル5F TEL:03-3556-8555

<http://www.mirai-prt.co.jp>

novello

TOTAL COMMUNICATION

ADVERTISING COMPANY
NEWSPAPER/TELEVISION/RADIO/MAGAZINE/MULTI MEDIA
DESIGN & PLANNING/EVENT PRODUCE/CI/VI

旭川/札幌/函館/帯広/釧路

〒070-0031 旭川市1条通11丁目左1号 TEL0166-24-5285
〒060-0052 札幌市中央区南2条東3丁目 TEL011-261-6631
〒040-0061 函館市海岸町12番13号ヴィラ海岸町1F TEL0138-40-1313
〒080-0017 帯広市西7条南22丁目8番地とてっば通り TEL0155-22-7606
〒085-0018 釧路市東金町11丁目釧路東金町MFビル6F TEL0154-31-2141

持ち味を引き立てる
アイデアあります。



北海道新聞社グループ
KITANIHON ADVERTISING INC.

株式会社北日本広告社 旭川支社

〒070-0010 旭川市大雪通1丁目978番地 TAKAOビル3F
TEL 0166-20-0007 FAX 0166-20-0004 <http://www.ad-kitanihon.co.jp>
札幌・函館・旭川・帯広・北見・苫小牧 ADKパートナーズネットワーク協議会会員

sign design display



藍工房

株式会社 藍工房
〒070-0027
旭川市定文町22丁目2746番地6
Tel.0166 51-8666 Fax.0166 54-8668

商業施設
展示スペース
イベント会場

空間演出
造形物設計
個特計画
屋内外看板

立体デザイン
パース
のり印刷
設計・企画・施工

AUDIO SOUND
VIDEO VISUAL
DVD-R CD-R
ZYU PLATE (マナー)

株式会社 WAVE
〒070-0004
旭川市東通7丁目 西蔵ビル3F
TEL0166-22-0200 FAX 0166-22-0201
URL: <http://www.wave.co.jp>
Mail: wave@wave.co.jp



魚介醬
食ってかない
ホッと
あやふ

イオン3F/旭川浪瀨村 粒麵浪瀨街



こころの時代

いくら時代が変わっても、大切なものは、
信賴を託し合うハートのコミュニケーション。
思い届くものを、表現力豊かに、
美しい色彩で、暖かみ情熱を伝えていく、
私たちの創造の原点です。

TOTAL PRINTING
株式会社 須田藝版 旭川市忠和5条8丁目3番1号
☎(0166)62-2266
E-mail sudaasahikawa@sage.ocn.jp 本社/札幌 釧路・苫小牧・滝川・東京・埼玉



CHAIR? GALLERY

コレクション館
チェアーズ・ギャラリー

家具の中でも特に椅子はデザイナーや建築家の創作意欲をかき立てる魅力的な対象物であり続けています。
今期のチェアーズギャラリーは織田コレクション及び北海道東海大学所蔵の世界の名作椅子の中から、独創的なアイデア・遊び心の感じられる個性的な椅子たちを展示しています。(年に2回テーマに沿った椅子を展示)
只今、「遊び心を持った椅子たち」開催中(8/1まで)

〒070-0030 旭川市宮下通11丁目 上川倉庫「蔵開夢」内
TEL 0166-23-3000 FAX 0166-23-3005
開館時間/5月~10月:10:00~18:00 11月~4月:11:00~17:00
休館日/毎週月曜日 入場無料
<http://potato.hokkai.net/~ada/gallery/index.html>



<http://www.too.com/>



明るいまちは、
家族の絆から。

2006年北海道富士興業グループコンセプト

一家団樂

家族が集まって、家庭をつくり、家庭が集まって、まちができる——。
あたたかな社会づくりは、たしかな絆の積み重ねにほかなりません。
だから今こそ、「一家団樂」。
当たり前だけど、いちばん大切な団樂の場を作り続けて40年。
北海道富士興業グループはこれからも、
家族の絆を大切に、まちづくりを考えてまいります。

北海道富士興業グループ

心ふれあう街づくり
北海道知事免許 上川(12)第93号

北海道富士興業(株)

本社
旭川市3条通19丁目
☎31-6111 ☎31-6164
中央店
旭川市5条通8丁目
☎24-4040 ☎25-0888

不動産活用ドック
北海道知事免許 上川(8)第525号 不動産投資顧問業・国土交通大臣(一般)第566号

(株)富士管財

本社
旭川市5条通8丁目
☎22-6060 ☎25-0888
総務部
旭川市3条通19丁目
☎31-6112 ☎31-6164
管理部
旭川市2条通19丁目
☎34-5955 ☎38-4337

パワーズα管理室
旭川市永山11条4丁目
☎49-2333 ☎49-2336
あさひかわラーメン村事務局
旭川市永山11条4丁目
☎48-2153 ☎49-2336

不動産のお世話係
北海道知事免許 上川(11)第1036号

リアルターアップル(有)

本部・2条店
旭川市2条通19丁目367番地
☎37-4337 ☎32-2111
パワーズ店
旭川市永山11条4丁目120-36
☎48-4337 ☎47-6667
管理部
旭川市2条通19丁目367番地の2
☎32-4990 ☎38-4337
高齢者入居相談部
旭川市2条通19丁目367番地
☎31-6199 ☎32-2111

安心情報No.1
北海道知事免許 上川(7)第660号

(株)リアルター

本部
旭川市4条西7丁目
☎25-4337 ☎24-6266



EQ

Emotional Intelligence Quotient

感を与える人でいよう。ヒラメキは、アタマとココロの積み重ね。仕上げは、愛で。——デザインピークス



有限会社 デザインピークス www.dpeaks.com

旭川市3条通8丁目 緑横ビル1号館 4階 tel.0166-22-4771 fax.0166-24-9644
札幌通北海道旭川支社 Office/旭川市2条通9丁目 旭川道銀ビル 6階 tel.0166-23-4776 fax.0166-26-7378

●札幌 Officeが移転しました。
札幌 Office/札幌市中央区北3条西2丁目10 さっけんビル4F tel.011-200-4771 fax.011-200-4772

aadc
BIG Vol.17
MAGMA

2006.4.21発行 旭川広告デザイン協議会会報

発行/旭川広告デザイン協議会
事務局/デザインたち 〒070-0026 旭川市東4条4丁目1-15 Tel.0166-26-6850 Fax.0166-26-6864
発行責任者/矢野野義之